

電機・情報ユニオン

2013年12月10日 第27号

発行 電機・情報ユニオン

〒105-0004 東京都港区新橋4-24-3

エムエフ新橋601

Tel&Fax 03-6450-1777

Email: denkiunion@gmail.com

ルネサス山形鶴岡工場の存続を NHKなど地元マスコミも報道

山形県労連と鶴岡田川地域労連は11月10日(日)、鶴岡市の勤労者会館で「ルネサス工場閉鎖・リストラを許さない学習決起集会」を約30名の参加で開催しました。

主催者あいさつの柳原敦鶴岡田川地域労連議長は「学習を深めて、ルネサスのことをよく知って、たたかっていきたい」と述べられ、関徹共産党鶴岡市会議員は「鶴岡工場は鶴岡で最大の企業。市長も工場存続で行動している。ルネサスが社会的責任を果たすよう、全力をあげて工場存続を求めていく」との連帯あいさつを行いました。

鶴岡工場の優れた技術を 生かして工場存続を

桜美林大学の藤田実教授から「選択と集中で日本半導体は復活できるか」の講演が1時間余にわたりに行われました。

藤田実教授は、世界と日本の半導体市場の現状と展望に関する詳しい分析結果を示し、ルネサスにおける経営失敗の実態と原因、ルネサスに求め

られることを分かりやすく説明されました。

そして、鶴岡工場は世界でも唯一の技術力も持っている貴重な工場であることを述べ、ノキアのドイツ工場閉鎖反対の運動を紹介しました。

鶴岡工場を存続させ 雇用と地域経済を守ろう

講演を受けて、鶴岡工場存続の方向性は「今回の出資で、トヨタ自動車に対する価格交渉力はますます弱まるのではないか？」鶴岡工場の自立論とは？」など、7名の方から質問が出され、藤田実教授から丁寧



11月10日(日) ルネサス工場閉鎖・リストラを許さない学習決起集会

な回答が行われました。

その後、電機・情報ユニオンの森英一書記長は、ルネサスリストラの概要とたたかいを報告し、職場で起こっているたたかいを鶴岡工場存続の運動の力にしてもらいたいと訴え、白石武夫東京支部執行委員は、本学習会の直前に行った門前配布の様子を報告しました。

最後に、柳原敦鶴岡田川地域労連議長の音頭で「工場存続を実現し、ルネサスで働く人たちの雇用を守り、地域経済を守っていく」思いを込めて団結がんばろうを三唱しました。

学習決起集会の配布

学習決起集会と連動して、鶴岡工場の門前での宣伝行動を10日(日)14時から15時と、11日(月)5時30分から8時40分に取り組みました。

宣伝行動には、山形県労連の濱田藤兵衛議長、勝見忍事務局長、鶴岡田川地域労連の上田事務局長、菅井巖日本共産党鶴岡市会議員などの人たちが支援に駆けつけ、総勢

12名で行いました。

10日(日)は大雨が降る中でしたが、ほとんどの人がビラを受け取り、2日間の合計で843セット、4年春闘アンケートと葉書とルネサス懇ビラ13号鶴岡工場向け)を配布できました。

地元マスコミが報道

地元マスコミの関心も高く、学習決起集会と宣伝行動をNHKが夕方と夜のニュースで放映しました。

その他にも、山形テレビ、テレビユー山形、山形新聞が報道しました。

第27号の紹介

- 1面 ルネサス山形鶴岡工場の存続を
- 2面 29職場に1万151枚配布 東京支部 第4回定期大会を開催 神奈川支部
- 3面 寒さに負けずに配布 茨城支部 34名で1910枚を元気に配布 関西地本
- 4面 交流のひろば、告知板